



JCCA *Japan Civil Engineering Consultants Association*
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 近畿支部

インフラメンテナンス研究委員会Ⅱ

報告書



令和6年9月

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 近畿支部

はじめに

2012年12月に発生した中央自動車道笹子トンネルの天井板落下事故を契機に、2013年が「社会資本メンテナンス元年」として位置付けられました。

この事故の2年前、既に社会資本の維持管理の重要性に着目していた建設コンサルタンツ協会近畿支部では、研究委員会活動の一つとして社会資本の維持管理に関する研究委員会の創設を目的に、自治体へのアンケートの実施、近畿支部内での議論など準備を進め、新委員会は道路や河川の土木施設の大部分を保有している地方自治体を対象とし、施設管理者の立場に立ち、施設管理者の視点や要望を取り込んで、「公共土木施設の管理者が維持管理の現場で実務的に活用できる基礎資料の作成」を目指すことを基本方針としました。

その基本方針に沿って、2010年、第Ⅰ期となる「公共土木施設の維持管理に関する研究委員会」が創設されました。以来、およそ14年間、常に施設管理者のニーズに目を向け、タイムリーな研究テーマを抽出し、建設コンサルタント技術者が中心となって研究を続けてきました。次に委員会の経緯を示しますが、分科会の統合、分割、廃止、独立などの変遷を経て活動を進めております。

第Ⅰ期「公共土木施設の維持管理に関する研究委員会」(2010～2012年度)

<2分科会：道路、河川、広報>

第Ⅱ期「維持管理研究委員会」(2012～2014年度)

<4分科会：道路、道路のり面、河川、広報>

第Ⅲ期「インフラ維持管理研究委員会」(2015～2017年度)

<5分科会：橋梁、道路構造物・道路トンネル、道路のり面、河川、CIM>

第Ⅳ期「インフラメンテナンス研究委員会」(2018.4～2021.9)

<5分科会：橋梁、道路構造物、道路トンネル、道路のり面、河川>

第Ⅴ期「インフラメンテナンス研究委員会Ⅱ」(2021.10～2024.9)

<5分科会：橋梁、道路構造物、のり面・斜面、道路トンネル、河川>

第Ⅴ期である「インフラメンテナンス研究委員会Ⅱ」の総数90名を超える委員は、忙しい業務の傍ら真摯に研究に取り組んでくれました。第Ⅳ期終盤から第Ⅴ期中盤は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、対面での会議、現場調査や視察を中止する状況が続きました。

本報告書は、第Ⅴ期の研究活動の成果を集約したものです。本報告書が施設管理者や建設コンサルタントの技術者にとって、インフラメンテナンスの実務で有用な資料になれば幸いです。また、次期研究委員会を発足予定であり、本報告書を利用して頂いた皆様からのご意見をお寄せ頂き、更に研究を進化させる所存であります。皆様のご意見を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、意見収集や情報提供にご協力頂いた国、地方自治体の施設管理者の皆様、各分科会でご指導を頂きました学識経験者の皆様、最終報告会で話題提供を賜りました神戸大学大学院教授芥川真一様、本研究委員会の活動方針や運営にご助言を頂きました支部長、副支部長および役員の皆様、そして多忙な中で研究活動をして頂きました委員の皆様にご敬意と感謝を申し上げます。ありがとうございました。

2024年9月

(一社)建設コンサルタンツ協会近畿支部
インフラメンテナンス研究委員会 委員長 北野俊介

目 次

第 1 編 委員会活動概要

第 2 編 橋梁分科会 補修・補強 WG

第 3 編 橋梁分科会 調査・点検 WG

第 4 編 道路構造物分科会

第 5 編 道路トンネル分科会

第 6 編 のり面・斜面分科会

第 7 編 河川分科会

第 8 編 インフラメンテナンスシンポジウム 最終報告会